

## 建設事業評価の結果について

平成 18 年 1 月 23 日  
大 阪 府

建設事業評価について、平成 17 年 12 月 16 日に大阪府建設事業評価委員会から知事に意見具申があった。本府としては、総合的に判断した結果、委員会の意見を尊重し、下記のとおり対応方針を決定した。

### 記

#### 1 事前評価について

施設整備事業の「大阪府立消防学校再整備等事業」については、『事業実施』とする。

#### 2 再評価について

道路事業の「国道 480 号（父鬼バイパス）」、連続立体交差事業の「南海本線・高師浜線（高石市）」及び河川（改修）事業の「芦田川河川改修事業」については、『事業継続』とする。

#### 3 再々評価について

農空間整備事業の「農村総合整備事業（陶器北地区）」及び砂防事業の「檜尾川通常砂防事業」については、『事業継続』とする。

なお、「檜尾川通常砂防事業」については、地域への説明会を開催するなど、引き続き、事業の P R に努める。

#### 4 安威川ダム建設事業

ダム事業の「安威川ダム建設事業」については、以下の点を踏まえ、『事業継続』とし、今後、ダム本体工事に着手していく。

- ・ ダムの規模等の諸元については、今後、大阪府河川整備委員会の審議を通じて、精査を進める。
- ・ 事業費については、環境への負荷にも十分配慮しながら、設計や実施の各段階において積極的なコストの縮減に努める。
- ・ 利水については、今回見直した水源計画を、国において平成 18 年夏頃を目途に策定が進められている「淀川水系における水資源開発基本計画（淀川フルプラン）」に、国等とも協議しながら適切に反映させる。
- ・ 環境対策については、「安威川ダム自然環境保全マスタープラン」に基づき、今後、モニタリング調査等を行いながら、具体的な自然環境保全対策に取り組む。

- ・ 建設事業評価委員会から提起された、一極集中型の豪雨についての対策の検討など、治水事業についての長期的、総合的な視点からの意見については、必要なハード対策を講じるとともに、地元市町村等とも連携を図りながら、ハザードマップの普及や洪水関連情報の効果的な発信など、より実効性のあるソフト対策にも積極的に取り組む。
- ・ 今回、審議の前提となった計画内容等に大幅な変更が生じる場合は、建設事業評価委員会に適宜報告する。

(別添参考)

## 建設事業評価結果一覧(7件)

### 【事前評価】

事業名	所在地	事業概要	大阪府の対応方針
<b>施設整備事業</b>			
大阪府立消防学校再整備等事業	大東市	主な整備施設の延床面積 教育・管理機能：4,600 m <sup>2</sup> 宿泊機能：5,257 m <sup>2</sup> (大阪府立消防学校再整備計画基本計画書による)	事業実施

### 【再評価】

事業名	所在地	事業概要	採択年度	進捗率 H17.3 用地・工事	大阪府の対応方針
<b>道路事業</b>					
国道480号(父鬼バイパス)	和泉市	延長 7.3km 幅員 10.5m	H8	47%・21%	事業継続
<b>連続立体交差事業</b>					
南海本線・高師浜線(高石市)	高石市	延長 4.1km 踏切除去数 13箇所	H8	84%・14%	事業継続
<b>河川(改修)事業</b>					
芦田川河川改修事業	高石市	二層河川 延長 0.6km 河道改修延長 0.77km	H8	28%・32%	事業継続

### 【再々評価】

事業名	所在地	事業概要	採択年度	進捗率 H17.3 用地・工事	大阪府の対応方針
<b>農空間整備事業</b>					
農村総合整備事業(陶器北地区)	堺市	農地の区画整理面積 (ほ場整備) 27.4ha 住区整備面積 4.3ha	H3	- %・84%	事業継続
<b>砂防事業</b>					
檜尾川通常砂防事業	高槻市	砂防えん堤工 1基	S63	100%・72%	事業継続

### 【安威川ダム建設事業】

事業名	所在地	事業概要	採択年度	進捗率 H17.3 用地・工事	大阪府の対応方針
<b>ダム事業</b>					
安威川ダム建設事業	茨木市	ダム高 76.5m (諸元は精査中)	S51	79%・23%	事業継続